

「東京の水連絡会」 結成集会

首都圏直下型地震で水道・下水道はどうなる!?

東日本大震災の現場に学ぼう



2011年3月11日の東日本大震災によって、水道・下水道は広大な範囲で、深刻な被害を受けました。

現地の水道・下水道施設はどのような事態に陥っていたのか、

そこで働く職員はどのように対応したのか。

壮絶な経験をした水道・下水道部門で働く皆さんから、首都圏に住む私たちに警告を発していただきます。

日頃は巨大なシステムのもとで便利な生活を享受している私たち。

「そのシステムは首都圏直下型地震でも機能するのか? パニックに陥らないようにするには!」

という視点で東京の水政策を考えてみましょう。



JR水道橋駅東口3分
都営地下鉄水道橋駅
A1出口1分

日時●2016年9月24日(土) 13:30~16:20

場所●全水道会館4階 大会議室 東京都文京区本郷 1-4-1
電話 03-3816-4196

資料代●500円

上水道現場から

一刻も早く
水を届けるために

安田貞雄氏 水戸市水道部

下水道現場から

壊滅的被害からの再建、
長期間の闘い

由井義勝氏 仙台市建設局下水道事業部

東京水道・下水道の職場から

東京都の水道・下水道
から見た直下地震対策

東京都水道局・下水道局職員

質疑応答・意見交換

南蒲生浄化センターを襲う津波

(2011.3.11, 16:01)

写真提供: 同センター



仙台市南蒲生浄化センターは、仙台市汚水の約7割、1日平均約32万㎡の下水処理を担う。東日本大震災に伴う津波により、主要な土木、建築構造物が破壊され、機械、電気設備が冠水、流出するなど、処理機能に壊滅的な被害を受けた。

主催●東京の水連絡会 協力●全水道東京水道労働組合

連絡先●山本 携帯電話 090-3241-5265